(明治四十一年十二月三日第三種郵便物認可)　(日刊)　日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年四月十五日（木曜日）　第八十三號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

シガー・ブドウ酒・ブランデイー・洋菓子・菓物・カン詰類
シガレツト・シヤンピン・ウヰスキー・キリンビール・タンサン水
卸小賣　歌米雑貨　洋酒食料品　洋煙草類　銀金屬美術品
直輸入商　京城本町二丁目　同三丁目
辻屋　本店電話四八二番　支店電話二六六番

東拓人物評論（五）

▲宇佐川總裁▼（四）　翠山

一般の韓人より別れを惜まれたる男は之と反對に陸軍部內一般の先輩より其の歸任を喜ばれたり、一去一來、一進一退要するに人生の行程は斯くありたきものなり。

當時男の地位は比較的微々たるものにて單に一介の陸軍中佐に過ぎざりしが歸來幾干もなく大佐に進み依然昔日の手腕と力量とを發揮して刻々軍務の任に當り、俊才の令名例に依つて陸軍部內の間に高かりき、其の後桂侯が初めて陸軍大臣の位を占め部內の俊才を登用し異材を重任せんとするの方針を執るや男は劈頭其の選に入り同時に侯の爲めに信任せられ軍政の樞機を托せらるゝに至れり、而して爾來男に對する侯の信任益々厚く殆んど股肱の臣たるの觀ありたり、其の後侯が陸相の位を辭し更に再び其の職に就くに當り侯は男を拔擢して軍務局長の要職に當らしめ遺憾なく其の抱負と經綸とを施さしめたり、而して男は此の侯の厚き知遇と深き情誼とに感じ一意專心孜々汲々として其の職に盡砕し、粉身碎骨畢生の才幹と智能とを發揮して克く省務の處理を圖り、軍務の振肅を劃し以て陸軍部內の面目を一新したりき、縱横の辣腕雄渾の英才當時陸軍部內の先進何れも男を將來の陸相に擬せざるはなく桂氏先見の明亦中れる哉と嘆稱せしめたるも蓋し謂れなきにあらずといふべし。

其の後幾久しく星霜を經て日露戰役の交に當り男は寺內陸相の下に軍政局長としての要職を帶び全然軍政に關する牛耳を執り事實に於て中流の抵柱たるを失はざりしが殊に男が戰役の爲め貢献せし勁績は實に偉大なるものにて三寸の方寸克く神謀を出し妙計を廻らし得て他の窺知する能はざるものありたり蓋し男當時の境遇や一望洋々恰かも順風に帆を揚げて長江大河を下るの槪なくんばあらず

而して斯く桂侯の爲めに多大の望を囑され信任を受けたる男は寺內陸相よりも亦痛く惜まれ伯が在職中常に無二の相談役として重用措く能はざりき、而も男に取つては是等先輩より信望と重用とは自ら欲し進んで求むるに非ずして唯自己の天性上自然と他を動かし人を感ぜしむるのみに過ぎざりし之れ蓋し男の人物が高風と實力とを兼ね備ふる結果に外ならざるべし、而も男は當時伊藤公よりも信任され公をして好個の行政家なりと嘆稱せしめたりき。

日露戰爭終りを告ぐるや三十八年十一月伊藤公が特命全權大使として韓國に渡る際公は更らに男を從へ男に就て韓國に於ける實際的事情と韓人に對する現實的掛引の機微を闚ひ依つて以つて日韓協約の締結に資する所少なからざりき、思ふに之に依つて是を觀るも當時如何に男の信望と力量とが一般の先輩に認められ居りしかを知るに足るべし、然れども四邊敵なく反對なく渾然として何れの人にも信服せらるゝ男は亦世人の見て以て一點疑を挾ましむるものあり

文苑

●春の夕　青楓

雨が上つて、夕日が紅くさした、蝙が飛んで來て、障子にばつたり當つた、仆れたかと思つたら、直ぐと又飛び出した、硝子越に南山の松までが、明白と見ゐる。

フワーリ、フワリと生ぬるい風が吹いて、揺うねりかの温突の屋根を渡つて、笛の音が聞ゐる、笛の音と云つても、彼の涼しい清い音ぢやなくつて、それは、亡國を呪ふ憐れな果敢ない、ヨボの單調な笛だ。斯うして、長閑な春の日の日暖が暮れてゆくのである。

●●●月の漢江●●●　れほば

荒野原を滔々たる漢江の流に佇立ちぬ、江波靜かに月光青く搖ぐところ、韓舟一つろよと吹く風を眞白の帆に孕まして、坦々たる江面を渡り行く。

靜かなる夜に、靜かなる河面を月を仰いで、靜かに馳る舟人よ、如何に樂しからん。舟の過ぎて走るや、江岸の彼方より、調節妙なる笛の音の、高く低く、水面をかすめて響く、如何なる歌人ぞや。

未見の歌人よ、我も圓なる生を祈る一人なり、アヽされど歌人よ、我等が希ふ平和の世は、永久に得らるべきか。

俳句

●短艇十句　千春

短艇二つ笛吹きかはし下りけり
河添ひのホテルの裏や釣短艇
彈痕の紀念となれるボートかな
漕出せば川風起る短艇かな
金波銀波ボートゆらぎて上る也
優勝旗押立て〳〵來るボートかな
柳にも蘆にも寄らず捨短艇
ホートに海國男子きたへけり
短艇や五洲に亘たる腕の冴へ
手巾の旗ひるがへるボート哉

佐倉宗吾

（五十四）　眞龍齋貞水講演

巧言令色の村岡幸藏が、喋々と主君を瞞着いたしましたから、主君も終にその氣に成り　殿「ム、成程、それ宜からう、然らば大和の計ひと申し聞かせ、百姓を勞はり、麻布の下屋敷へ引入れ、皆な之を生捕て仕舞へ　幸「ハ、ハッ、畏りましてござる、夫から直ぐ、御前を退りますと、惡人の村岡幸藏、足輕に申し付けまして　幸「其方共に於ては、是より淺草觀世音の境內へ參り、堀田領の百姓一同を、麻布古川の屋敷へ伴れ込めよ　足「畏りました」そこで銘々、堀田家の定紋の附いた灯提を點けまして、それ〳〵支度に及び、淺草の觀音を指して參る此方は百姓、觀音樣へ御經を上げ、大願成就を祈り、アヽ有難いこつた、何しろ堀田大和樣の御取計で萬事入費を省いてくれさつしやると云ふ事だから、マア六人の名主樣の量見を聽いて見べゐ」と、六人の名主に對ひ　○「さて皆さん、如何したものでござりませう」と云ふと宗吾が　宗「イヤ唯今こして、六名の者が相談をしましたが何しろ麻布の御下屋敷へ往つて、大和樣の御言葉に從ひ、御厄介になるのも宜いけれども、併しながら、左樣に御手數を掛けるまでもあるまい、銘々やはり、二人三人と宿を取つて居りませう、此事が濟むまではや、何程の事もあるまいから、村內の軒別頭割にしたら、些細な事でござるから、兎に角今晩の所は、一同宿へ就いて下すつた方が宜からう　○「ハア然うこせゐますかな　宗「兎に角私共も是から宿へ引取りますから、れ前さん方も希か、爾う云ふ事にして、一度堀田樣へ上つて、御斷はりをして來て下さい　○「ハア然うでがすか、太郎左衛門どん如何だね　太「さうさね、あんでもハア、宗吾どんの云はしやる事が宜かんべねや　○「それぢやハア、一つ御屋敷の御門前まで往つて、また何はにや成るまい」と、續々是から觀音の境內を出まして、淺草田原町まで差掛ると、先方から堀田樣の灯提を點けた者が十四五人來まして　役「コレよ、其處へ來かゝるは、佐倉領の百姓ではないか　百「ハア左樣でござゐます　役「左樣か、唯今堀田大和樣の仰せに依て、其方共を迎へに參つた　百「ハア左樣でごぜゐますか　役「大和樣が御上の方へ對して、宜しく其方共の願を御採上げになるやう取計つて得さすに就いては、一處へ集つて居らぬければ、何事を沙汰するにも、都合が惡いに依て、麻布古川の御下屋敷へ、今晩同道して手當をせよとの事だ、大和樣の仰せだに依て、是から御屋敷へ參つたら宜からう　百「ヘー　役「吾々が案內するから、直ぐに參らう　甲「ハア何うしやうかね、乙「然うさね、大和樣の仰つしやる事だから大丈夫まだ大和樣の仰せに背くやうな事があつちや成らぬ」と云ふので、欺されるとは知らず、一同足輕の案內に從つて、麻布の古川へ向う、現今なら電車もあり、人力車もありますが、其時分は其樣なものはない、尤もあつた所が、百姓の事だから、車などには乘りはしますまいが、隨分遠い道を、大和樣の御蔭で一同が助かると云ふ、一つは心中に喜びもございますから、疲れも覺えず、麻布の御屋敷へ來りますすると、此百姓の中に、辰右衛門と謂ふのがある、印旛郡印旛村の百姓でございまして、此度抽籤に當つて江戸へ出たのでありますが、この辰右衛門が考へた、待てよ、俺ハア、故國を出る時　なんでもハア、此度の一件に就いちや、御門內へ迂つかり入つちやなんねゑ、御門內へ入ると、縛られるか、首を斬られるやうな事があるかも知んねゑから、氣を付けろと父樣が云はつしたが、縱令大和樣の仰せでも、斯りや迂つかり御門內へ入れねゑどうも俺の考ぢや、此處まで來る人がら觀音樣へ往かねゑ內に、御沙汰がある筈へねゑそれが、今に成つて此樣な事を云はつしやるなあ可笑な事だ、何しろ油斷が出來ねゑ、俺ア御門內へ入るめへ」と考へながら來ました

京城中學校生徒募集公告

一第一學年　若干名
一第二學年　若干名
一出願期日　四月廿三日
一入學試驗　四月廿四日、廿五日午前九時ヨリ
一試驗場　京城居留民團立第二尋常高等小學校

入學志願者ハ（明治四十二年四月七日告示第六號京城中學校學則第十七條ニ依リ四月十日及十一日ノ當地發行ノ各新聞參看）入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ京城居留民團役所ニ差出シ受驗心得書ヲ申受クベシ

右公告ス

明治四十二年四月十三日

京城居留民團民長　熊谷賴太郎

金四錢

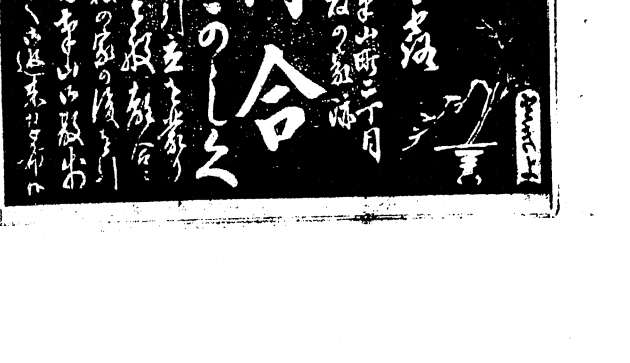
京城　廣江商會　電話五七六番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
京城旭町一丁目六十七番戶
辯護士　岡田榮
（電話三九八番）

○建築業　中川卯之助
京城本町七丁目別府湯　電話六九一
○多年の經驗にて建築の完全を期し料金は便宜御相談可申候也

廣告

裁縫　手藝　和洋料理　敎授
明治町二丁目百三十一番戶
野村サワ子



美術半衿帯上其他組類各種
京城明治町一丁目
ゑり德商店

京城新報

東拓金融部の貸付方針

東拓會社が現在の資金僅々百七十五萬圓の中より五十萬圓を割て貸金營業を開始するの眞意が那邊に存するかは世人の最も訝る所なり、余輩は素より斯る僅少の金額を以て貸出を開始するも韓國の經濟界に何等の影響もなく從て高率なる金利を引下るに至らざるべきを以て更に重きを置かざるも、其貸出方法にして偏頗に失するに於ては會社前途の經營に意外の惡影響を受くるに至るべきを以て、最も公平なる貸付方針を確立せざる可らず、頃者聞く所に依れば貸付資金五十萬圓の三分二は或る方面よりの下命により某々に貸付することに決定し居れば一般申込者の希望は到底受入らるゝ能はざるべし云々と、果して之が事實なりとせば甚だ失態と云はざるを得ず、驛屯土の評價に於て事業部は大なる失態を演じ今亦金融部が失態を演せんとするに至りては何と評すべきや、東拓會社に於て算盤を知り理財に精はしきは岩佐金融部長一人なりと聞く、理財に精はしき岩佐部長が斯る失態をなすべしとは思はれず、或る方面より下命の爲に全資金の三分の二を貸付するが如き偏頗のことを爲さゞるべきも、世人は驛屯土の失態に顧みて杞憂の念を抱かざるを得ず、要するに金融部の貸付方針は一視同認ならざる可らず、農業も商業も工業も皆拓殖上の關係に於て決して輕重すべきものに非ず、此等に對して飽迄公平なる態度を以て臨せざる可らず、假令或る筋の下命なりと雖も方針に副はざるものは斷然拒絕せざる可らず、而して其貸付方針は其資金を直接事業に使用するものを標準とするを要す、資金を借出し其間に利を得て亦他に貸付するが如きものに貸出すは甚だ不可なり、然るに此等の徒は巧に其筋に取入り種々なる方法に依りて當事者を誘惑するを以て往々此徒の爲に籠蓋せらるゝの例乏しからず、岩佐部長たるもの須く緊褌一番此徒を排し眞に直接拓殖事業に使用するものに貸付するの擧に出でざる可らず、徒に虛業家の懷を肥すが如き偏頗なる貸付をなす可らず、會社が負ふ所の大使命に對しても斯ることは最も忌むべき事なりとす、縱令些細の資金と雖も貸付方法の如何によりては會社の盛衰に關することなしとせず、事業部の失態のみにても既に世の一大問題となれり、若し夫れ金融部に於て亦も失態を醸すに至らば世論は更に喧囂するに至るべし、世の惡評のみ招くが會社の能事に非ざるべければ金融部は奮勵以て好評を博するの擧あるべきなり、若し夫れ傳說の如き或る向の下命に依り資金の大部を之に貸付して公衆の便を計る能はざるが如きことあらば斷然之を排して、公平にして着實なる方針を以て韓國の拓殖に資する所なかる可らず、余輩は金融部の貸付開始に就きて之を懸念するを以て當事者に向て特に注意を與ふるもの也

●仁川牛皮界の現況

仁川牛皮界の現況を聞くに本年は阪地に於ける相場新調なりしため一月以來三萬一千餘圓の輸出をなし昨年度より約五割の增加を示せしが本月上旬頃上三十二圓乃至十錢中三十下圓二十八圓を稱し居りしも此程に至り仁川牛皮界の一大打擊とも云ふべき一事出來したり卉は支那商人が銀塊相場の變動を劇して支那牛皮の大阪輸入を企てたる所端なくも値段整ひ昨今弗々輸入せらるゝものあるを以て相場は亦稍々下落となりたりとの報仁川に達するや仁川牛皮は一時に下落し上物二圓中下物は一圓五十錢方の下落を示したるが再昨日一萬斤許り忠淸道より入津ありたるも之れがため取引捗々しからずと云ふ

東京電報

▲判決執行法律發布

臺灣總督府法院統監府法務院及理事廳の判決執行に關する法律本日發布さる(十四日發)

外報一束

●埃及の排英思想

埃及國首府カイロにおける一般の輿論は同國の主要行政の範圍なるを要すといふにあり尙同國の最大弊害が國民派新聞の增加にあることを認識しつゝあり

●安奉守備論據

淸國が安奉鐵道線守備兵及び警察兵撤退を要求する論據は安奉線を以て滿鐵の支線にあらずと云に在るも千八百五十八年パグロフ條約第八款に依り露國に於て支線敷設權を獲得し居り日本は當然其權利を繼承せるものなりとて帝國當局は更に之を峻拒せりと

●パナマ運河工事

三月中のパナマ運河の堀鑿量は四百萬立方ヤードに上りレコードを爲せり向ほ殘餘の開鑿せられざる可からざる部分は一億四百万立方ヤードなりとす主任者は今や實際の開鑿工事は三年以內に結了す可しと豫算し居れり

●婦人の關稅反對

一萬五千のメリヤス女職工は關稅案中彼等に關係ある條目に反對せんとて華盛頓にて運動しつゝあり

●西比利亞線延期

西伯利亞鐵道複線工事は最初チュメン、オムスク線及び西部黑龍鐵道の竣工期即ち明治四十五年に終結する都合なるも到底期限通に竣工せず早くも四十六七年頃まで繼續する模樣なり

●伏見宮ご淸廷

伏見宮御出迎として曹汝霖の外侍郎聯芳又は同格官を泰皇嶋に派し北京停車場には皇族御一名宮内大臣外務尙書の出迎あり又特別汽車を出だす筈なりと尤も他の外國特使に對しては皇族の出迎なく汽車は只特別室を附するのみなりと

雜報

●副統監の視察

曾禰副統監は國分佐竹兩秘書官及び外波武官等を隨へ本月十八日出發釜山より光濟號に搭じ北韓沿岸視察の途に上る由往復二週間の豫定なりと

●韓國皇室ご養蠶

韓國皇室にては養蠶を始めらるゝことに決定したるに付きては農商工部の岩田技師及長岡技手の兩氏は昨四日宮內府に到り養蠶室の選定其他の準備を爲したりと云ふ

●東拓ご水產業

東洋拓殖會社が漁業法に依りて漁業權を獲得し水產業を經營せんとする計畫ある事は既報の如くなるが右に關し會社は目下農商工部と交涉中にして會社は漁業權の免許を得たる上は一部は會社自ら漁業を營み一部は小作的に漁業者に漁區を賃貸する方針なりといふ

●東拓驛屯土引繼期

東拓會社にては曩に各社員地方に出張して驛屯土の調查を了し之れを本社に報告して引繼の準備中なることは既報の如くなるが愈々本月下旬又は來月始め頃より引繼ぐ事と決定したりと

●民事證據調查費用

十三日付法律第十五號を以て民事證據調查費用の件を發布されたり

●漁業法に依る出願

本月一日より施行されたる漁業法に依り農商工部に提出されたる願書は今日迄の累計發許漁業日人二十六件韓人六件許可漁業日人十九件にして免許漁業に關しては本部より技術官を出張せしめ實地調查の上此れを許可する筈にて許可漁業十二件は既に許可し他も許可の手續中なりと

●駐韓軍の引揚げ說

目下韓國に駐屯して暴徒の鎭壓に從事せる第六師團輜重兵大隊を除く全部並に步兵一箇旅團、騎兵砲兵各一箇聯隊れよび昨年四月を以て配置せられたる憲兵二千人、韓人補助憲兵四千人即ち殆ど二箇師團以上の人員なるが昨年末統監府にれいて此際歸順するものは暴徒と見做さず盜賊として相當の處分をなすべしとの規定を設けたる以來歸順者多く今日の所にては三十名以上の徒黨をなすものは皆無の姿なる由との事なるが二千人の憲兵と四千人の補助憲兵とを以て充分鎭撫の任に當り得べきにより本年十月第六師團の交代を機とし全部之を引揚ぐべしとの說を唱ふるものあり

●會計規則案の審查

一昨日は內部法令審查委員會の定例日なりしも各道會計主任會議に各委員列席せし爲め流會となり昨日午後より深田委員長以下各委員列席の上地方費會計規則案に就き再審議せし由

●鐵鑛產額ご純益金

昨年度に於て農商工部所管の殷栗の鐵山より產出したる鐵鑛は五万三千五百六十五噸餘にして此賣渡價格三十四萬九千〇九十五圓九十九錢官營費支出額三十二萬二千六百三十一圓二十三錢五厘差引純益金二萬二千四百六十四圓七十五錢五厘なりと云ふ

●民會規約ご府民會

漢城府民會にては自治體の精神を周知せしめ兼ねて將來自治制を布くの準備として十三道各地に民會規約なるものを頒布せんとて目下同規約の印刷中なるが全部數は約五千にして之れが經費豫算は二百圓なりと

●航路補助出願紛擾

昨年仁川有志者の主なる人々發起となり同港より群山及び鎭南浦方面間沿岸航路の經營を企て農商工部へ補助金交付と出願したるが書類に不備の點ありて其の訂正方を命せられたる儘今日に及べるが今回右請願者中の數名別に同一航路の計畫を企て同じく農商工部へ補助を申請したるため曩に申請したる有志者との間に紛紜を來し目下信夫理事官此れが調停に努めつゝありと云ふ

●郡守候補者の任命

地方官資格審查會に於て資格審查を爲したる郡守候補者の內一二名は不日任命の沙汰あるべしと

●金銀貨地金輸出入

三月中に於ける金銀貨及地金の輸出入高を擧ぐれば輸出に於て三十四萬二千六百八十四圓、輸入に於て五十九万三千七百二十二圓にして之れを前年同期に比すれば輸出に於て二十七萬九千〇三十三圓の增加を見輸入に於て六十萬三千六百九十圓を減少せり

●居留民大會ご準備

仁川民團樓上に於いて豫報の如く一昨日午後一時より仁川居留民大會の委員會及び午後三時より世話役人會を開き來る十七日に開かるべき居留民大會の準備に就き種々協議する所ありたるが詳細は次號に報道す

●韓美電氣の賣却說

コールブラン氏の經營に係る韓美電氣會社の買却說は屢々喧傳せられたるが今般藤田三郞、大倉喜八郞の諸氏之れを買收すること相談纏りたる由にてコールブラン氏が去る八日東上したるも之が協商の爲め也と

●滋福洞の要塞工事

慶尙南道滋福洞の要塞工事は追々進行し將校宿舍は最早殆んど落成を告ぐるに至りしより目下同地に轉任する將校追々增加しつゝめり全部移轉の曉は馬山の市況にも多少の活氣を添ゆることなるべし

●連帶輸送の擴張

從來韓國鐵道線と鐵道院線との大小荷物の連帶輸送は主要驛間に限られ居りしが來る五月一日より鐵道院線各驛(北海道線、米子線、總武及德島線を除く又鹿兒島線は小荷物讃岐線は小荷物及速達便扱大荷物に限る)にて取り扱ふ事となれり

●日韓人大會の開期

木浦商業會議所主催の全羅南道日韓人大會の開期は五月初旬の豫定にて同會の目的は當地方に於ける暴徒の根本的鎭定法を講究し代表者を選定して當路者に肉迫して之れが救濟策の斷行を庶幾するにありと

●暴徒京城に潜伏す

黃海道海州郡地方に出沒せる暴徒約四十名は過般京城に入り込み目下西部管內各洞に潜伏し漢城に於ける諸般の形勢を注視し居れりとの說あり

●度支部日韓語講習

度支部にては日韓人共同執務の便宜及び相互間の親睦を圖るため同部及び所管官房在勤の日韓人官吏及び雇傭員にして韓語又は日語を解せざる者に日語又は韓語を知らしむる目的を以て日韓語講習會を組織し本月十五日發會式を擧げたるが十九日より始業し午前八時半より一時間日本人に午後三時半より一時間韓人の講習を開始す會長は荒井次官なりと

●龍山の養蠶講習所

龍山大韓婦人會附屬養蠶講習所にては從來女生徒を以て養蠶の講習を爲さしむべき方針なりしも女生徒少なき爲め男生徒を養成し居りしが本年よりは全部男生徒を癈止し女生徒のみを養成することゝし競爭試驗を行ひたる結果二十名の入講を許可したるを以て不日講習を開始する筈なりといふ

●工業傳習所卒業式

官立工業傳習所は本月二十日第一回卒業式を擧行するため官民の重なる人々五百餘名に案內狀を發したるが當日來賓には紀念として生徒の製作品を贈呈し尙生徒作業の模樣を觀覽せしむと

●閔東拓副總裁東上

東拓副總裁閔泳徽氏は來月東京に開かるべき株主總會に列席の爲め不日東上すべしと

●東拓の內情(二)

所謂驛屯田の性質に就ては尙ほ詳述すべきものあり是れ初めは韓廷若しくは韓國陸軍の所有に係り中頃整理の結果國有となれるものなるも韓政府は去年七月勅令を以て驛田屯田の小作人にして相當の屆出を爲す者は向後五箇年間其の特權を持續するを得る旨を公布せり即ち拓殖會社にして假令其の提供を受くるも日本國の移住民に對し此の土は利用せしむる能はざるの事情あり况んや驛田屯田に關する▲韓人間の訴訟沙汰の如き從來最も複雜にして到底其の眞相を解し能はざるべきをや夫れ移民の爲めに彼等が耕作すべき田畑の性質、位置を撰定買收するは東洋拓殖會社の事業中主要の一ならざるべからず而かも此の選定の提供に任じ拓殖會社自からは徒らに袖手して其の提供を待つが如き殆んど會社成立の意義を疑はざるを得ず且つ一會社に對し▲土地乃至物件の出資を許す場合は必らずや該會社の定款に依るものならざるべからず而も拓殖會社の場合に於ては然らず統監府は拓殖會社の創立委員が會社定款の草案を起稿せざるに夙く既に韓民に對して土地出資の差支へなき旨を告示し自から商法上の規定を犯せり是れ既に恕すべからず更に此の不當なる出資に對し時價若しくは實價以上不當の評價を敢てせるに至つては殆んど拓殖會社全資本の四分一に居る韓國側の出資額二百五十萬圓を空しく浪費に蕩盡せるものと謂ふを妨げず▲所謂不當の評價とは何ぞや今試みに我が農商務者の調查に係る驛田屯田の地價を擧ぐれば一反步に付

咸鏡南道	上等田	廿圓內外
	下等田	五圓七十錢
同 北道	上等田	十圓內外
	下等田	五圓內外
平安南道	上等田	廿圓以內
	下等田	七乃至八圓
同 北道	上等田	十五圓內外
	下等田	五乃至六圓
黃海道	上等田	廿圓內外
	下等田	十圓內外

にして成鏡、平安南道は全韓國中最も肥沃の地なるを以て其他の忠淸、全羅各道に於ける驛屯田の實價に至つては固より推定するは難からず而して拓殖會社の此等驛田屯田の提供を受くるや實に一反步に付平均約廿六七圓に當れり是れ不當の評價にあらずして何ぞや(萬朝報)

●韓人官吏勳章佩用

曩きに韓國官吏にして日本帝國より受領せし勳章は十二日付を以て其佩用を允許されたるが勳章及氏名左の如し

勳三等瑞寶章	掌禮院禮式官兼理事	高羲誠
勳四等瑞寶章	侍從院侍從	李喬永
	正三品	李永植
勳五等瑞寶章	正三品	李鍾瑩
勳六等瑞寶章	宮內府主事	申昴均
勳八等白色桐葉章	前果司	昔三鳳

●平壤昨今穀類相場

白米は目下は九圓より九圓二三十錢にて大豆は三四十錢上り四圓となり栗は六圓二十錢にて大麥は二圓七十錢の居据りなり裸麥は四圓五十錢となり黍は三圓二十錢より下りて二圓九十錢に落ちたるが粟と大豆とは頭川上流地方より少數ながらボツ／＼入荷あり小麥は全く品切れのところ黃海道より廻荷ありと

●木浦の町名變更案

木浦港の町名番地改正に付ては市區改正の今日根底より一大變更を爲すべき必要を認め舊名稱を保存して改正すべく不日民會にて協議する筈也と

●晋州馬山間の道路

目下着手中なる該道路は舊馬山方面より既に里許の進行を見たるが愈々竣工の曉迄には猶數月を要すと

●鎭海灣要塞の植樹

鎭海灣要塞に松苗木五百本を植付くる事となり居りしが同苗木は近々着すべしと

●二月末釜山戶口數

民團去る二月末の調查によれば人口總計二萬一千八百二十九內男一萬二千三百六十一、女九千四百六十八、戶數四千三百四十九、此內死亡卅八、出生五十八なりと

●警察銀行兩工事

公州に於ては今回公州警察署農工銀行支店の新築工事に着手せり又群山太田鳥致院方面より陸續邦人の增加を見三月中に約八十名の移住者あり企業としては植林農園等の設計あり

●三月中の出入船舶

關稅局調查に係る三月中の出入船舶は左の如し(單位屯)

	入港の部	出港の部
汽船	二三一、八二三	二二六、七一三
帆船	二、六一四	二、五七六
ジャンク	二、一一三	一、七三二
計	二三六、五五〇	二三一、〇二四

●仁川港碇泊船舶數

一昨日の仁川入港船は矢崎丸厦門丸信の川丸の三隻にして即日出港したるは厦門丸一隻なり目下碇泊中のものは揚武丸、巴、久滿、加多、東照、生玉、成歡、重湖、錦江、飛龍等なり

●警備電話の開通

公州鴻山間の警備電話は過日開通せり

●兩觀察使の入京

平南觀察使李軫鎬京畿觀察使金思默は鹽川書記官と共に昨日來京せり

●淸水文之輔氏

十八銀行支店長の同氏は一昨夜長崎より歸來せり

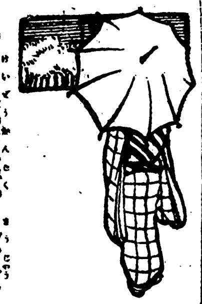
公人私人

▲永濱盛三(關稅總長) 曩に滿洲及哈爾賓方面に出張中なりし處本夜歸任の筈
▲中川孝太郞(法科大學敎授) 十三日歸東
▲本田幸助(水原模範場長) 十三日歸任
▲野口弘毅(釜山一銀支店長) 十三日歸釜
▲伊東四郞(步兵大尉) 十三日來京九州旅館
▲酒井才次郞(東京朝日記者) 十二日來京副統監邸

近事片々

▲漢城 政界の近狀は恰も水に油を流したるが如く最も靜穩也と雖も暗流は滔々たり
▲李容九の歸來は此靜寂を破るべしと政界の觀測者は語る如何に變態を來すべき乎
▲容九 黃金を懷にして歸來すとは一進會員等の待焦がるゝ所以果して抱黃金歸る乎
▲現閣 に飽迄反抗したる金嘉鎭も朴齊純の手に依り懷撫せられたりとは現閣の成功
▲茲に 於て一進會去就如何により現閣の地盤定らむ容九の歸來後一進會の動靜如何
▲倫敦タイムスの韓國評は大に伊藤公を讚悅せしむ愈乃公の鼻を高くするに至らむ
▲統監府の報告書を土臺にして評論すれば玆に至る報告書編纂に力を注ぐ謂ある哉
▲報告書のみ見て實際を見ざれば異にタイムスの論ずるが如し是即ち伊藤式ならむ
▲伊公 辭任の說は一面に於て伊柱閣の軌轢を意味すと云ふものあり果して然るにや
▲大隈 伯は曰く韓人を悉く日本化するには百年を要すと云ふ何を標準とした者乎
▲現在 の如き遣口にては百年は愚か五百年たつとも日本化するに至らじ困つた事也
▲韓人 として心底より服從の念を起さしむるには現在の政策にては何の效もあらず
▲遠き に溯らざるも李朝五百年間に於ける事蹟に顧れば瞭々火を覩るよりも明白也
▲桂侯 の手は今や八方に延び右手に政黨を操縱し左手に財界の鍵を握る天晴大立物
▲更に 亦海軍に手を入れて操縱せんとす其慾望益々增大す大御所樣に私淑すと云ふ
▲埃及 の排英思想は近時益々高まれりと傳ふ之は當然來るべきの問題にあらざる乎
▲排英 的新聞の增加が重なる原因なりといふ或は然らんされど是も當然の事ぞかし
▲世の 進むに從ひ保護政治の如き曖昧に感せらるゝものは跡を絕つに至るべきなり
▲英國 に於ても早晚埃及問題は決せらるゝの傾向なきに非ず是も亦至當の事ぞかし

仁川牛皮界の現況を聞くに本年は阪地に於ける相場好調なりしため一月以來三萬一千餘圓の輸出をなし昨年度より約五割の増加を示せしが本月上旬頃上三十二圓五十錢中に至り仁川牛皮界の一大打擊とも云ふべき一事出來したり幷は支那商人が銀塊相場の變動を利して支那牛皮の大阪輸入を企てたる所端なくも値段整ひ昨今弗々輸入せらるゝりとの報仁川に達するや仁川牛皮は一時に下落し上物二圓中下物は一圓五十錢方の下落を示したるが再昨日一萬斤許り忠清道より入津ありたるも之れがため取引捗々し



●京城監獄の騷擾

▲闇に乘じて囚徒の逃走
▲當直看守袋叩にさる

春雨濛々として咫尺を辨せぬ一昨十三日の眞夜中獨立門外京城監獄署の囚徒七名が折柄の風雨に乘じて監房內壁の箝板を取り毀ち閂を造つて外壁を押し破り當直看守を袋叩きにして何處ともなく遁走せる一椿事わり左に其の詳細を記せん

▲破獄の摸樣 時は是れ十二時を過ぐる事二十分當夜の宿直看守たる朴炳鎬は神ならぬ身の今にも一大事の蒸起せんことを知るに由なく唯だ例時の如く**監房を巡檢**せんとて靴の音戛々と第〇號監房の前に差し掛りぬ時や時に遲し豫ねて牒し合はし居たる**十名の囚徒**は此の時一**聲に鯨を作つて土壁を押破り**て躍り出で看守の**帶劍を奪ひ取り**早く三名の囚徒は看守の兩手に嚙み付きざまアッと言ふ間もあらばこそ恰かも猛虎の狂ふが如く手と言はず足と云はず滅多矢多羅に毆り散らして其儘揚々として引上げたりしが此の物音に打ち驚きてスワ一大事よと駈け付けたる應援看守の幾人は**僅かに三名の囚徒を取押へ**たるのみにして**殘り七名**の囚徒はそれより**非常口の錠前を捻ぢ切り**て闇に乘じ何處ともなく逃亡したるなりけり

▲逃亡せる囚徒 は強盜犯柳鉉西(二七)以下強盜犯三、內亂罪二、詐欺取財犯一都合七名にして彼等は素より豫ねて互ひに喋じ合はせ居たるものなるべく、同監獄**監房の內壁がハメ板**なれば其の一枚を毀ては他は皆な自から**取除**かるゝやうに出來居るのみならず當夜は剰へ雨さへ颯さへ吹き荒れて多少の物音も別に怪しまるゝ事なきを奇貨とし担こそ斯かる椿事を企てたるなるべしと云ふ因に當夜の當直看守朴炳鎬は此椿事のため兩手に數ケ所の咬傷を負ふたれども何れも輕傷なる由

●朝鮮式の膝栗毛

▲觀光團員滑稽の數々 京城日報主催日本觀光團員は去る十一日夜釜山に着し大池、守谷の二旅館へ投宿したるが大池旅館に投宿せる一團は重もに貴紳の元老のみにして已に日本觀光に上りし者も少からざるを以て左して滑稽を演じたる者もなかりしが守谷に投宿せるは大部地方の素封家乃至郡守等にして未だ曾て日本の風光に接し日本の家屋に宿泊したる事なかりしより守谷樓上の**百疊敷に吃驚**し曰はく『斯んな廣い處に寢られるものか寢ても眠られぬから室の小なる處に案內せよ』と蛙鳴の如くに斷へ出で係員もホトホト閉口し遂に深更に至り各々小室に分ちて寢に就かせたりと又同旅館に止宿せし一團の中に林術雲(開城の者)權鍾浩(前主事)金永壽の三人あり何れも頑固なる儒生の出身なるよしにて其携帶せる荷物の中には日本の副食物を嫌ふて韓國副食物の干物類を用意し居たるが列車館に釜山停車場に着して後同港の市街を通過して守谷の百疊敷樓上に昇り釜山の繁盛を眼下に顧望し日本人が我韓國內に來りて斯くも盛んに經營し居るのを見れば唯**憤慨**の種子となるのみにて此上日本に渡り日本の隆盛なるを見るときは腸**寸斷**するも測られざれば是より斷然一行に袂を分ちて歸し歸らに若かずと云ひ出し堅く取つて聞かざりしには案內者の日報社員も大に閉口したりとなん

●女萬引の親玉

▲南部署刑事の手に捕ふ 九州中國邊を根據とせる女萬引の一團此程韓國に入込み釜山、仁川、龍山、京城を荒し廻り居りしを一昨夜三時頃南部署の村上、中井、赤松三刑事の爲め捕縛され目下同署に於て取調中の由なるが彼等が現に携帶せる呉服類は殆ど**二千圓**計りの者にして其の大部分は當地本町筋呉服店にて窃取したるものなりと尙詳細は追て報道すべし

●各地の大火災

本月十日午後四時慶北齊同郡邑內韓人家屋より出火二十餘戶を燒き同八時三十分鎭火負傷一牛一頭燒死す▲本月十二日正午全南潭陽郡泉面池釜正方より出火五十八戶を全燒し午後五時鎭火したるが韓人二名燒死せり▲同日午前十時同光州郡髙四面タイガン里金某方より出火し七十戶を全燒午後二時鎭火牛二頭を燒く

●火賊の首魁捕はる

黃海道及平安南道に於ける火賊の首魁黃海道瑞興郡龍淵坊居朴智文、同道鳳山郡楚坊居李秉煥及同郡總淵坊居林孝楨の三名は此程其筋の手に逮捕されたるが彼等は六年前より火賊となりたるものにて朴は十四犯、李は十二犯林は十一犯の前科者なりと

●匪徒の亂行

慶尙北道義興郡東面居洪春川、同東化郡東面居金雲漢、同蔚山郡農面居金秉學といふ三名の匪徒は去る二日廣州郡東面居李春伊方に闖入し金品を強奪せんとしたるを以て春伊及其男相伊は之れに抵抗せし處前記の三名は短銃及刀劍を以て銃傷及劍傷を負はせ葉錢四兩其他の金品を掠奪したるが其後大邱警察署の手に捕はれたりと

●海賊仁川沖に現はる

仁川郡德積島船乘業金榮善、林命權の兩名は玄米輸送の依托を受け過般全羅北道益山郡裡里上り仁川に向ふ途中洪州郡內鷗島附近に於て十余名の海賊に襲擊され積載貨物の過半を掠奪されたりと

●清華亭の二老妓

仁川鮮樓の老妓仁助は今回當地清華亭に住替へた萬と改名して昨日より又舊て同亭にありて色の黑きを以て名髙かりし大助は久敷く廢業中なりしが是れも昨月より名もれ馴染の大助其儘にて突出す

●漁船の難破

本月十日江原道江陵郡にて漁船三隻(乘組員十五名)暴風のため行衞不明となる

▲珍らしき事新らしき事

伊太利フセンボタニー博士は遠巨離タイプライターの發見をなしたるが同機は電話機に接續して呼出人と呼出されたるものとの間に書面にて談話を爲し得る裝置にして呼出人がタイフライターと同式の鈕を押せば如何なる遠巨離にても先方の電話機附近に備へある紙片に一々記載せらるゝ仕組なり而して一分時間に百廿文字を記入するは最も容易にして此機械の發明によりて將來手紙を使人に持參せしむるの仕事は皆無となるべし既に伯林巴里間に之れを實行したるが好成績なるより今後電話と同一の費用にて各處に設置すべしと云ふ

●一昨夜の新町遊廓

登樓客の總計は九十五名にして此費消高五百三十四圓八十錢其中皆春樓の二十七名と百三拾九圓五十七錢が最髙なりしと

●壽座の語物

初日以來非常の好人氣なる壽座の義太夫は昨日より切符制度となし特等五十錢壹等三十錢二等二十錢三等十五錢といふ大奮發を爲したれば一層評判高し尙ほ今夜の語物は左の如し

奧州秀衡四段目 竹本定太夫
源平布引の瀧四段目 竹本小宮士太夫
玉藻前三段目 竹本團朝
朝顏日記摩耶ケ瀧 竹本輝美太夫
菅原傳授四段源藏內 竹本楓登太夫
三十三所壺坂寺澤市內 竹本一昇

●花柳巷談 似合の花較べ(五)

伊豫之守

▲静子これ茶羅 前者は掬翠后者は花月何れも賣出しの花形にして蓋し好一對の對照かと存候、靜君は茶羅君に比し遠く處女らしき域を脫し俗氣多きもコヽが所謂藝妓として能く砕けたる如才の無き處で却つて法がらるゝ處かとも存候、顏は當世流の丸ポチャで眼玉のクリ〳〵した媚に愛嬌好き相形を備へ掬翠樓では慥かに呼物の一人に候人間は餘り機敏なる方にも非ず言はゞ平凡なる方と云ふ可き其凡々たる處が又人に愛せらるゝ處かと存候、併し布袋侯爵を生捕つた手腕杯は穴勝ち平凡にも非らざる樣に候、茶羅君の容姿はドウシテも藝妓とは受取れず深窓の裡に人となりし良家の令孃としか相見へず候其艷かなる頰に深く刻まる笑凹は實に得も言はれぬ愛嬌ありて異に人を腦殺する者に候、兎角顏の能き妓は藝に疎き者だに候得共此兩君は決して否らず相當の藝術を有するが上に又近來は芳村伊三郎の門に入りて長唄に熱中し居れりとは賴母しき限りに候、過賞の譏りはあるやも知れざれ共先づ京城の藝妓中容貌其他總べての上に於て完備せしこと此兩君の右に出づるもの無之と存候た次は花奴に政菊

●韓語獨習

日語	韓語
此の、河の名は何と云ひます	イムルイルムミー、ムーオーシニヤ
錦江です	クムカングイヨ
あの山は何と申します	クサーニームースンサーニヨ
龍山です	ヨンサーニヨ
あの、村の名は何と云ます	チヨートンチーカーイルホムミー、ムーオーシヨ
あちらに、川があるか	チユギナイカイツヌニヤ

◀平民文庫◀

▲高味君が店員投票に山口式頑固主義を守つて名利の競爭に齷齪しなかつた態度は感心だ(寒月生)▲此度京中の校長に來任する隈本氏は嘗て文部の視學をやつてゐる時分に哲學院で中島博士と喧嘩した事があるやうに覺えて居るが少しは頭が進歩したか知らん(杞憂生)▲柄にもなき京日の藏筆彫刻者龍草廬翁を草邀とせしさへあるに詩是吾家事の詩を恐と讀むのすまし顏の憎さよ(村崎角十)▲二三日前の新聞に妾が三輪一座の日東勘兵衞とやらに別れて萎れ返へつて居るといふ事が出てゐましたが酷いわ妾はねあんなしみつたれなたつた二圓の金の無心を云ふてやるやうな馬の足に可愛がつて貰はなくつてもちやアんと〳〵大步の〳〵のた客さんがわりますよ(第一樓二葉)▲今度壽座にかゝつた大坂淨瑠璃の眞打ち竹本一昇は實に名人の域に入つて居る僕は韓國に斯かる語り手の來たりしを幸ひ天狗連の大集會をやつて一番選者となつて貰ひたいと思ふ同好の士以て如何となす(天狗連)▲昨日若林警視總監邸の前で犬が交接して居るのを大勢の婦人連が面白そうに見物して居るのには驚いた(通行人)▲此間壽座に來た芝居の西の女房で平野照子と云ふ女優に醜行を企てゝはね附けられた鼻下長がある記者さん投書致しませうか(寶見生)▲試に投書して御覽なさい(係)▲此頃の京城市中の不景氣は二十年來初めてだと僕の親父は語つて居た(心痛男)▲貴紙掲載の韓語獨習は大に吾々の參考となる願くば連日揭載を怠たる勿れ(愛讀者)

齒科診療 自午前八時至午後五時
東京醫科大學專攻 統監府囑託齒科醫 南山町巴城館上隣
飯塚徹
電話千百四十番 開通

⑪天氣豫報(自十四日午後六時至十五日午後六時)

西の風曇後晴

十三日 最高溫度 七二、五 最低溫度 五七、〇 (華氏)

廣告

●工業傳習所土木實習室玄關其他新築工事右四月廿一日入札ニ付ス詳細ハ十四日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ 建築所

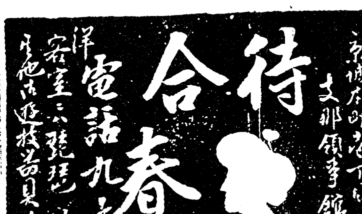
●京城裁判所留置所其他增築工事右四月廿二日入札ニ附ス詳細ハ十五日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ 建築所

●永同警察署廳舍其他合宿所新築工事右五月四日入札ニ附ス詳細ハ十五日以後ノ官報又ハ當所及大邱財務監督局ノ揭示ヲ見ヨ 建築所

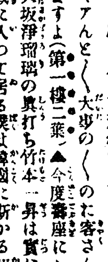
●公州警察署警部官舍其他新築工事右五月三日入札ニ附ス詳細ハ十四日以後ノ官報又ハ當所及公州財務監督局、群山稅關支署ノ揭示ヲ見ヨ 建築所

●龍山印刷局煉瓦塀及通用門新設工事右四月三十日入札ニ附ス詳細ハ十五日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ 建築所

●平壤財務署廳舍新築工事右四月廿二日入札ニ附ス詳細ハ十四日以後ノ官報又ハ當所及平壤財務監督局ノ揭示ヲ見ヨ 建築所



統監府御用 諸官衙人力車 荷物荷造及運搬
伊藤組
營業 京城曙町(電話七三番)
本店 同本町三丁目(電話四〇番)



登記漢城府手續 諸願 居民役所前代書 土地鑛山測量 集金取立代辨 土地家屋賣買其他金錢貸借諸般ノ仲介
京城本町一丁目 岡田事務所 電話七〇五番

本會々長平賀博士來ル十八日午後八時三十分南大門着天眞樓ニ宿泊セラルヽ筈ニ付キ此段會員諸君ニ謹告ス
四月十四日
丁酉會韓國支部幹事

豫約募集
本書には統監府軍司令部師團司令部各理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各商業會議所及び韓國政府中央地方諸官衙各國領事館職員錄を併載致候
京城理事廳認可

朝鮮紳士錄

總クロース金文字入
定價一部 金五圓
豫約特價前金壹部 金參圓
申込締切期日 六月十五日
送本期日 七月十五日
登載事項 政治家、軍人、官公吏、經濟財政家、實業家、工業家、農業家、醫師、辯護士、敎育家、宗敎家、美術家、新聞記者、銀行、會社、學會、敎會、寺院、協會、俱樂部組合

發行所 京城西小門通り 京城新報社

豫約申込所
本町二丁目 日韓書房
新王城前 盛文堂
北署安洞 大韓書林
中署廣橋東邊 滙東書舘
中署罷朝橋越邊 中央書舘
南大門通 義生盛號

本紳士錄(交詢社式)には韓國各地在住の日韓清英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の坐右に欠くべからさる要書に有之候

豫約募集

●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る●

薪新用燃料 無烟煉炭

●特色 火付善く火力耐久價格低廉
●用途 瀛鑛、暖爐、竈用に適す
●周防徳山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場

京城特約店 京城南大門通 電話六〇三番 巴商會 韓國一手販賣 二丁目

和日組

▲無料紹介欄▼

人事部

下女至急入用 廿四五歳より四十歳位迄給料十圓まで 氏名在社(二一八)

女中入用 裁縫の心得ある者廿五歳以上の婦人を望む 旭町一の六十 旭町讀賣所(二二〇)

物件部

清語通譯希望 當初給料望まず 氏名在社(二二一)

電話貸したし 氏名在社(二二三)

電話賣りたし 氏名在社(二二四)

電話格安に譲りたし 社内 中村

床屋譲渡したし 氏名在社(二二二)

廣告

電話開通 九九〇 京城大和町二丁目 青雲亭

待合 花月 京城南山町一病院前 電話一一〇二五番

電話九百〇二番 內科 婦人科 外科 富久尾病院 京城旭町二丁目 電話九百〇二番

◉高等無鉛白粉 ◉高等香水
右は常に澤山御使用なさる御方の便利を計り何人もたやすく出來る製法を詳しく通信教授致します●自宅で作ると買値の五分の一位で出來ます●そして高尚なる娯樂でもあります●教授料二十錢郵券なれば三錢七枚送付あれ 大坂府天下茶屋 榎本大居堂

鴨綠江特種木材 九州セメント取次販賣 末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材 京城旭町三丁目 建築業 柴田芝六 電話五六八番

松丸太、輕便レール枕木各種荷着 御用の方は御一報次第店員御伺ひ申候 京城南大門外電之坊萬月里 日韓物產商會 小曾根錄造

電話開通 千百三十七番 二十錢均一にして毎夜無休 午後六時迄に御越の御方に限り十五錢雨天は半額 京城座

龍山 萬長旅館 東山の手柳町 電話四〇〇番

●廢物利用● 一金口莨空箱買入れ申候 但百本入に限る 上等金口トルコ莨發賣所 京城本町四丁目 パ子リス商會

假營業所廣告
弊店儀今般改築に着手致候間普請中筋向へ林田交換所內に於て假營業仕候間不相變御愛顧御用命の程奉願上候 追て電話六十五番を當分使用致候
各國時計並に美術品 京城本町二丁目 田中時計店

電話開通 一〇四二 牛豚雞肉、 石田精肉店 京城明治町一丁目

電話開通 千百五十二番 和洋紙文房具 帳簿諸印刷 京城本町一丁目 北內商店

大勉强賣出し
拜啓漸く春暖の候に趣き候折柄大方の各位益々御清祥奉賀候降て弊店儀皆々樣の御引立により日增しに隆盛に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬ひん爲め破格の大廉價を以て販賣可致候間何卒御用命被仰付度偏に奉希上候 並に修繕等ヽ御持參下され候へば精々勉强致し其の上クリーム一個宛進呈仕候
京城本町理事廳前 富田製靴本店
同本町六丁目 同第一支店
同南大門外 同第二支店

仁川宅支店

十年の血の道 三週間に全治す
子宮病 下腹腰足引つり痛み下腹より胸先へ差込み正氣を失ひ又は寸白血赤血帶下を流し顔色蒼白き人
血の道 (ヒステリー)症にて氣鬱ぎ癇高ぶり夜眠られず、些の事を氣にかけ、こんき薄く、息切れし動氣强き人
逆上頭痛 肩首筋こり、目眩を起し耳なり腰足冷え

月經不順 又は滯り、年頃になりて月經なく又腹に塊ありて其外月經不順より起る諸症
產前 何となく常ならざる人は妊娠として服用し置けば、月滿ちて安產す
產後 古血の滯り或は日立惡しく、手足の水腫又はしびれ其他子宮病血の道より起る諸病に種々の藥を用ひて其効なき人は…中將湯を試みよ

定價		
五週間分 貳圓五拾錢	一週間分 六拾五錢	
三週間分 壹圓六拾錢	四日分 卅五錢	
二週間分 壹圓拾錢	一日分 拾錢	

●中將湯は各藥店にあり無くば本舖へ ●本舖へ注文の御方は病人容體詳く申越
本店東京日本橋區通四丁目 支店大阪東區大寶寺町 本舖 東京 大阪 津村順天堂

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々數御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路 (元花屋跡) かめ屋
▲懇切の下宿▼

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓 東京火災保險會社
●京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番
●事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品 品質優等、意匠艶麗、
G.D.印トルコ金口煙草(百本入 十本入)
外各種 百本入、二十本入、十本入とも
右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候
直輸入元 仁川本町一丁目 トルコ煙草商會 電話(七一五番)

詳細なる營業品目錄及び寸法用紙御報次第御送付す

流行の變形靴 甲革材料は柔軟にして丈夫なるクローム製Aボックスカーフ
金四円八十錢 ●代金引換小包に[illegible]
御注文の節は御足を紙の上に踏其の周圍を鉛筆にて[illegible]直に筋を引き御足の實形を取り御送の事 又は御常用の日本足袋文數御通知の事
東京市芝區愛宕下町 電話新橋二〇三番 振替貯金口座二一〇番 龜田靴商店

直輸入品 リノリーム各種 リノリ油類 T.S.L 清韓洋行 京城支那領事館通り (電話四九四番)
右到着仕候間御用命下され度候

大 命 萬
特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元 京城本町五丁目 大上商店 (電話二五一番)
和洋酒、精酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

營業科目
活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 [illegible] 製本裝釘
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱[illegible]
日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番)
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

純良 乳 牛乳元祖 京城大和町一丁目 平山牧場 電話百二十三番

諸傘印入並に提灯類 和洋蠟燭あり 京城明治町一丁目 大島商店

三一館 [illegible] 京城本町五丁目 通信鑑定一件一圓特別二圓

★株式會社 百三十銀行 韓國總支店 京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、
東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七ノ崎、高崎、
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、鳥取、米子、境、松江、久手、大田、
山陽道 龍野、姫路、廣島、高梁、福山、府中、尾の道、三原、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、郡中、宇部、吉見、岡山、
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、徳島、撫養、高松、丸龜、觀音寺、松山、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、中津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌、
台灣 臺北、臺南、
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、群山、安東縣、晉州、馬山、
銀行一般の業務精々便利取扱申可候

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番
貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕店 電話二九番

●大連行(船客切斷)	新潟丸	日正午時出
●釜山長崎門司神戸行	山城丸	五月九日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行	高砂丸	四月廿二日正午
●大連、大沽、牛莊行	[illegible]丸	四月二十七日
●大連、大沽、牛莊行	[illegible]丸	五月十三日正午
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行	立神丸	四月二十八日

御注意 [illegible]

●新聞料 一枚 [illegible] ●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行 [illegible]
發行兼編輯人 秋山定三郎
印刷人 高木久太郎
發行所 京城[illegible] 京城新報社 電話[illegible]